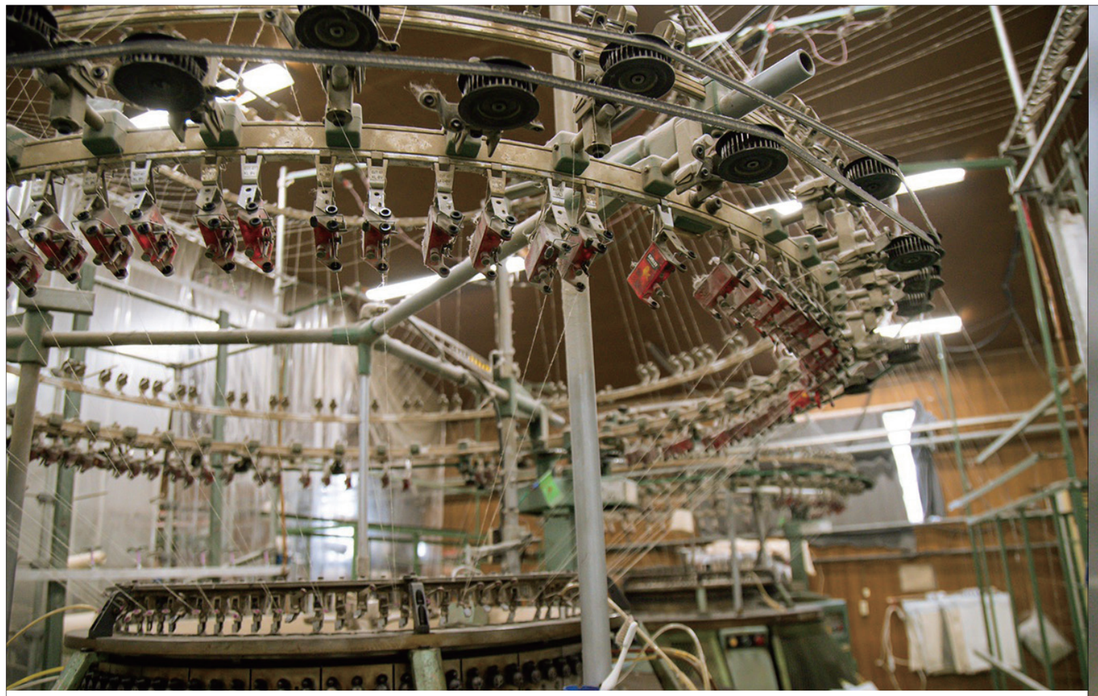
- H E M P W E A R -
KAZE
Made in Wakayama JAPAN

「風になりたい」

KAZE（ケイズ）は、ローマ字読みで風（かぜ）。海、山、川などの豊かな自然に恵まれた和歌山と仲良く調和している風のように、私たちの創るWEARも、日本はもちろん世界中の人や自然と調和する身近な存在になってほしいという願いを込めて名付けました。

これからは、WEARに自分の意思を反映し、より自分らしいファッションを楽しむことができる時代になっていくと考えています。進化していく個性の時代を支える新しいKAZE（風）をぜひ体感してください。



ヘンプらしさを最大限まで活かした唯一無二の
HEMP WEAR KAZE（ケイズ）

日本一のメリヤス産地、和歌山の高品質ニットクオリティが生んだ、
日本で唯一のヘンプ素材ブランクウェアブランド『KAZE（ケイズ）』。

ヘンプ素材の可能性×和歌山ニットクオリティ

「個」の企業としてだけではなく、深い歴史と伝統の技を持つ和歌山の繊維業界などの地場産業をはじめとした、さまざまな分野と連携しながら、ものづくりの現場において新たなアイデアを形にしていくことで、地域全体の活性と成長を目指します。

日本一のメリヤス産地である和歌山県。その特色を活かして、和歌山に根差した企業が地域の人と手を取り合い作ったものから、和歌山そのものの魅力を日本全国だけでなく世界に向けてＰＲしたい。そんな想いを込めて創りあげる、唯一無二の HEMP WEAR 「MADE IN WAKAYAMA」でイチから創りあげる一貫製造で、確かな品質の妥協のない一枚をお届けします。まずはその着心地からお試しください。

和歌山ニットの歴史

「あさもよし　紀人羨しも　亦打山　行き来と見らむ　紀人羨しも（麻の衣もよい紀の国の人は羨しいものだなあ。真土山を行き帰りに見れる紀の国の人は、本当にうらやましいものだ）」という歌が万葉集に残されているように、かつて和歌山は麻衣（麻で作った衣）の産地でした。古くから日本人のファッションと暮らしを支えてきた歴史を持ち、近代以降はニット産業が発展。現代においても着々とその技術と伝統を深めています。

ニットというと、カーディガンやセーターなどを思い浮かべる人がほとんどだと思いますが、ニットは広い意味での編んだ生地の総称。ジャージやＴシャツ、インナーやバッグなどもニットのうちに入ります。和歌山は、全国でも有数のニットの産地なんです。

和歌山のニット産業は、明治42年に楠本藤楠がスイスの丸編み機を導入したことから始まったといわれています。大正には第一次世界大戦を契機に、紀州ネルの起毛加工を応用したメリヤスが飛躍的に発展。全国一の丸編みメリヤス産地になりました。昭和に入ると、両面機が導入され、両面生地の生産が進められていきます。

昭和28年には、和歌山ニット工業組合が設立。東京オリンピックが開催された昭和30年代には、メリヤスがジャージ、ニットへと変遷。アクリルを使った、ジャージ生地と呼ばれる合繊メリヤス生地が誕生。世界中へ輸出され、爆発的に人気に火が付いたといわれています。その後、オイルショックや海外の安価な製品の流入などにより、ニット産業を取り巻く状況は厳しくなっていきます。

新しい時代に対応していくため、現在和歌山のニット業界はマーケティングを強化し、「個」でなく産地全体で連携しながらものづくりをする企画提案型産地に転換し続けています。

KINARI

■KAZE-01

7.2oz Hemp SPCotton T-shirt

●綿65%、ヘンプ35% ●厚手生地（HEAVY WEIGHT） ●天竺 ●5color/5size

[color] KINARI,WHITE,BLACK,SMOKE GREEN,MUSTARD,UMI IRO,RENGA
[size] S,M,L,XL,XXL
[price] ¥8,200（税込）

WHITE　BLACK　SMOKE GREEN　MUSTARD　UMI IRO　RENGA

size	S	M	L	XL	XXL
着丈	66	69	72	75	78
肩巾	42	46	51	56	61
身巾	49	52	55	58	61
袖丈	20	21	22	23	24
天巾	20	20	21	22	23

【ATTENTION】
●製造ロット間によって、色味や、風合い、
製品サイズに多少の差異が生じる場合がございます
サイズ表の記載は、あくまでも参考の目安としてご使用ください
●水や汗、摩擦等により多少色落ちや色移りすることがあります
●天然繊維の為、多少縮みます。タンブラー乾燥はお避けください

首回りは身頃よりも番手を太くしたりストレッチ性を持たせるなど細部までこだわり、洗濯後も型崩れしにくいという特徴があります

ヘンプ35%、綿65%のベストバランスで作るTシャツ
唯一無二の一枚で自分らしさを手に入れる

多機能なヘンプ素材に、ソフトでしなやかな風合いのスーピマコットンをブレンド。ヘンプという素材の良さを最大限に活かすための配合を追求しました。ヘンプ特有の硬さをスーピマコットンでカバーすることによって、ヘンプ100%にもコットン100%にもない、独特の表情と風合いを兼ね備えた、ハイクオリティな生地に。

HEMP WEARとして、プリントを載せやすいことを前提に、多くの人に日常的に愛用してもらえるよう、着心地や耐久性を突き詰めた妥協のない商品が出来上がりました。

天然繊維の自然な表情を生かして仕上げているため、ヘンプの節が見られることもありますが、使っていくうちに徐々にその節は取れ、洗練されたきれいな生地になっていきます。着れば着るほど味が出て、独自の風合いが生まれ、“自分色”に変わっていく。そんな天然素材の良さをお楽しみください。

「紀州ヘンプ」

和歌山県で作る
ヘンプ素材のTシャツと五本指ソックス

機能性と独特な風合い

HEMPは、繊維が細く、表面にひび割れや空洞が無数にある多孔構造を持っています。そのため、水分を素早く吸い上げて拡散し、蒸発させることができるのです。吸水性・速乾性だけでなく、調温性や調湿性にも優れているので夏は涼しく、繊維に無数の穴があることで空気の層が生まれ、冬は体温を温かく保ってくれます。さらに近年の研究では、紫外線予防、抗菌、消臭などにも効果を発揮することが分かっています。生地としては他の繊維よりも丈夫で、湿り気を帯びるとさらに強度が高くなります。

履けば履くほど自分らしく変わる五本指ソックス、
独自の風合いと足元から心地よさを実感できる、
究極のフィット感。

日本有数の
メリヤス産地、和歌山。
世界に誇る技術力と伝統が
結集したプロジェクト。

和歌山の高品質ニット技術を活かした製品。世界に誇る五本指ソックスのパイオニア、和歌山のニッティド株式会社（写真上）は、同じく和歌山に本社を置く、島精機製作所が開発した無縫製の「ホールガーメント®」（写真下）編み機を使用して、縫い目のない快適な五本指ソックスを製造。

■KAZE-02

5本指靴下（Henp Five-toed socks）

●綿57%、ヘンプ35%、ナイロン10%、ポリウレタン1% ポリエステル1%
●3color/3size

【color】**KINARI,BLACK,RENGA**
【size】**23-25cm,25cm-27cm,27cm-29cm**
【price】**¥2,640**（税込）

【ATTENTION】
●蛍光剤の入った洗剤は使用しないでください
●編み機の特性上、靴下裏側の指先と指股に糸端が発生します
●糸端を短く切ってしまうと穴あきの原因となりますので、ご注意ください

KAZEに関わってくださっている方々へのこだわり

製品そのものだけでなく、ロゴやカタログデザイン、写真撮影、ムービーなど
プロモーション製作を含めたKAZEに関わるすべてにおいて和歌山にこだわり、
信頼のおける製作陣を迎えて一から作り上げています。

【Participants】

MODEL / 伊藤 佑心
PHOTO,MOVIE / Podiee Brown/Sho Takahashi
STYLING / モスラ理髪店、BARBER KARO
OVERLOOKING WEAR PHOTO / suiphotographica 須井 康守
WRITING / SH WRITING 濱田 沙綾
LOGO DESIGN / ハットリ from PuffPuffWear
DESIGN DIRECTOR / 藤澤 哲人（合同会社ウッディーズ）
PRODUCT HOMEPAGE / Hackusha, Inc.

【Cooperation】

株式会社エイガールズ（アパレルメーカー）
ニッティド株式会社（5本指ソックス・無縫製ニット製造）
株式会社島精機製作所（ホールガーメント®編み機メーカー）

-ALL WAKAYAMA TEAM-

Produced By 合同会社ウッディーズ

2021年、和歌山から品質にこだわり抜いたHEMP WEARが誕生。
これからは、より自分らしさが楽しめる時代に

【Profile】
合同会社ウッディーズ
代表/CEO
辻岡 大樹 TSUJIOKA DAIKI
1987年11月14日生まれ、和歌山県和歌山市出身。
地元の大手新聞社である和歌山リビング新聞社の営業マンとして勤務しながら、
2013年に仲間とともにウェアブランド「PuffPuffWear™」を立ち上げ、
2019年に独立し、「合同会社WAKAYAMA WOODYS」を起業。和歌山市の中心地
にプリント専門店「PRINT SHOP WOODYS和歌山本店」を構える。
2021年、PRINTABLE HEMP WEAR® BRAND「KAZE」をスタート。
2023年1月、和歌山県外初出店となる「PRINT SHOP WOODYS堺店」をスタート。
和歌山県外進出に伴って、2023年、会社名を「合同会社ウッディーズ」に変更。

PRINT SHOP WOODYS
https://printshop-woodys.com/

衣類のプリント加工会社を運営していて、気づけたからこそ創れる物を届けたい。そんな思いのもと、ユーザー目線で理想を追及し生まれたのが、日本で唯一の国産ヘンプ素材ブランクウェアブランド「KAZE（カイズ）」です。

これからやってくるのは、誰でも自分らしさを表現することができる自由な時代。多くの方に、もっともっとオリジナリティを追求していただき、それぞれの新たな魅力を発信していってほしいと考えています。

「ヘンプ生地を使った日本製のウェアがなかなか見つからない」。

そんな多くの人の声に応えるため、関わりのあるメーカーに問い合わせるも、ヘンプ生地のウェア製作は容易に請け負ってもらえるものではありませんでした。

「それなら、イチから自分たちで作ってみたらいいのでは」。

誰かが作ってくれるのを待っていられない。そう考え、アパレルメーカーのコーディネーターや新たなことに挑戦している和歌山の繊維加工会社の協力を得て、スタートした HEMP WEAR BRAND。

妥協を許さず、多くの人の選択肢とともに、クリエイティビティの可能性を広げたいという思いのもと、研究に研究を重ねて生まれた、アクティブで自由度の高いヘンプブランクウェアを展開していきます。

※ブランクウェア＝無地のままはもちろん、プリントなどの加工にも適したウェア

環境への配慮とSDGsへの取り組み

石油などの化石燃料の使用削減、木材資源の使用抑制を目指す上で、環境への影響が少ないヘンプの活用への期待が高まっています。ヘンプを原材料として作られる製品は廃棄物を最小限に抑えることができ、地球環境の保全に繋がります。また、生育時に光合成で大量の二酸化炭素を吸収して酸素を供給、栽培時には化学肥料や農薬を必要とせず、環境にやさしい素材として注目を集めています。花房や葉からは薬剤を、種実は油にも用いられ捨てるところがないといわれており、半永久的に供給が可能なヘンプは、サスティナブル（持続可能）で、エシカル（倫理的）な素材で、将来的にもさまざまな可能性を秘めているのです。

【HP】 kaze-hempwear.com
【ONLINE STORE】 kaze-hempwear.stores.jp